



山際つとむ 議会レポート

2月定例会

2月定例会において、「新たな公共交通推進事業」、いわゆるBRT導入について活発な議論が交わされ最大の争点となりました。



新潟市中心部を走る連節バスのイメージ図

私が所属する会派「民主にいがた」では、昨年2月に「新たな公共交通導入基本方針」が公表された以降、新潟交通を招いての勉強会を開催するほか、定例会において質問を重ねてきました。しかし、2月定例会直前になって専用走行路などの先送りが発表され、定例会開会後の質問においても市長と執行部は市民への説明が不足していたと自ら認めたくて連節バスの購入予算で1億6,650万円を計上したことから、所属する環境建設常任委員会では、この予算の凍結を求め、賛成多数により付帯決議案は採択されました。しかし、その後の本会議においては、これまで連節バス導入に反対の意思を示していた会派、議員の多くがこの決議案に賛同する意思がないとの見方から否決される可能性が高く上程は見送られたことから、多くの市民の皆様から疑問の声を頂きました。今年度の9月定例会では購入契約の議案が審議される予定ですが、市民への説明や導入に対する課題がどのように整理されたのか、しっかりと検証してまいります。

新年度予算

平成25年度新潟市一般会計予算

3,584億円

2月定例会において、新年度予算が可決、成立しました。一般会計の予算規模は前年度と比較し、+0.3%、11億円増の3,584億円となり、国の地方財政計画を上回り積極的な予算となりました。しかし一方で、一般会計における平成25年度末の市債残高は5,142億円、基金については50億円を取り崩し、基金残高は平成25年度末で155億円となる見込みであり、中期財政見通しでは26年度に歳出のピークを迎え、厳しい財政環境は今しばらく続くものと想定されます。

そこで、財政圧迫要因となる扶助費の増加について、働く若者を増やす施策、高齢者が働ける仕事の創造、ワークライフバランス支援など費用削減につながる取り組みを推進し、健全な財政運用に一層の努力が必要です。

5月臨時会

5月16日から20日までの日程で5月臨時会が開催され、主な議案として新潟市ホームヘルパー派遣手数料条例の一部改正や除雪ドーザの買い入れによる財産の取得などありましたが、すべて可決されました。

その他人事について、藤田隆議長、青木学副議長が辞任したことから、議長、副議長選が行われ、以前に議長経験のある志田常佳氏が議長に、副議長は青木千代子氏に決定しました。このほか、監査委員、常任委員、議会運営委員の選任も行われましたが、人事案件については、相変わらずの会派間の駆け引きなどもあり、スムーズに決まったわけではないのが実情です。

私はこれまでの環境建設常任委員から文教経済常任委員に代わることとなりました。この委員会の所管は文化・観光スポーツ部、経済・国際部、農林水産部、教育委員会などになりますが、PTAや市民活動の経験を生かし、積極的に議論をしてまいります。

6月定例会

6月定例会が6月11日から7月1日の日程で開催されました。

主な議案のうち、一般会計補正予算では、新潟まつり開催補助金について、花火大会の充実に向けた必要経費を増額し、まつりの活性化を図るための経費700万円など、6億8,823万円を追加し、今年度予算の総額は3,590億8,823万円となりました。

一般議案では、子ども・子育て支援法に基づき、本市が設置する「子ども・子育て会議」に関して、必要な事項を新たに条例で定めるもの他、「アイスアリーナ」について、施設の設置・管理に係る規定を整備するなど22議案すべてを可決しました。



新潟市アイスアリーナ外観イメージ図

その他議員提案による「憲法第96条先行改定に反対する意見書の提出」や「新聞の軽減税率を求める意見書の提出」など3件を可決、請願2件を採択し、陳情1件を不採択としました。

常任委員会

所属する文教経済常任委員会では議案5件が付託され、そのうち議案第70号、訴えの提起における、新事業創出支援施設にいがたe企業館で利用承認を受けていた部屋の原状回復と明け渡し請求では、企業館の事業目的は創業支援が主たるものであるものの、申請者の選考会での審査において、その基準の見直しを行う必要があり、少なくとも負債の有無や資金繰りなどについて確認する必要があり、入居後にも適宜チェックできる体制の構築を要望しました。

一般質問

6月定例会で一般質問に立ちました。主な質問項目と答弁は以下のとおりです。



<自転車の安全対策について>

問 先日、自転車利用推進委員会が開催されたところであるが、啓発活動計画のうち、マナー向上については新潟県交通安全協会主催の子ども自転車大会を後援し、参加校拡大を目指すとしているものの、参加する学校は減少し、実技テストにしても競技化した内容で道路の実態に即していない。他市で導入している自転車免許制度やマナー検定を参考に教育を進めるべきではないか。

答 子ども自転車大会への参加校の増加を目指し、小学校に周知を図っていくが、大会の内容については学校の意見を聞きながら主催者に伝えていく。マナー向上は交通事故防止のためには重要な課題であることから自転車免許制度やマナー検定の導入についても検討していく。

<給油所対策について>

問 改正消防法によって給油所の地下タンク改修が義務付けられたことに加え、原油価格の高騰による需要低下と経営圧迫などにより、給油所が減少し続けている。給油所過疎地を生まないこと、また、すべての市民において何らかの交通手段確保を考慮したうえで、本市における給油所減少対策について伺う。

答 現在、本市は「給油所過疎地」には至っていないものの、将来的には改正省令による影響により給油所空白域が生じる可能性も考えられ、自動車を交通手段とする市民への影響が懸念されることから、ガソリンスタンドの状況把握に努めながら、必要により対策を検討していく。



小学校で開催される自転車安全教室。

もう一言!
先日、少年が自転車で人をはねた事故に対して、親に9,500万円の賠償命令の判決がありましたが、被害者だけでなく加害者にならないためにも安全教育やマナー向上の必要性を訴えていきます。



給油所過疎地を生まない対策が必要

<公園改修について>

問 「みどりと森の運動公園」はそのネーミングに対し、木陰が殆どなく、森には程遠い状況である。気温上昇時には休息場所が限られている状態であることから、木陰を創出する必要があると思うがどうか。また、街区公園など、以前に整備されたものの少子化などにより利用が極端に少なくなっている公園が見受けられるが、地域の特性に合わせ、住民の意見を反映させた公園改修を行い、有効利用を図るべきであると思うがどうか。



木陰の少ないみどりと森の運動公園



子どもの利用が少なくなった街区公園

答 みどりと森の運動公園について、ケヤキなど高木が木陰を作り出すまでには年月がかかることから、藤棚など比較的簡易な施設の設置や、市民の皆様が大切に育てた庭木の移植なども含め、専門家や地域の方々の意見を伺いながら具体的な検討を進めていく。また、街区公園などは設置した当時と利用形態や周辺状況が変化している公園もあることから、地域の方々と意見交換を行いながら、その地域の特性にあった公園の改修を進めていく。

特別委員会

2月定例会において最終報告を行った、「安全、安心まちづくり調査特別委員会」と「議員定数調査特別委員会」については調査終了に伴い、6月定例会において、特別委員会の再編が行われ、新たに「公共交通調査特別委員会」を加え、4つの特別委員会でスタートしました。

私はこれまで「まちなか、地域再生調査特別委員会」に所属していましたが、今年度から「公共交通調査特別委員会」所属となり、山田洋子委員長からの指名推薦により副委員長を拝命しました。

この特別委員会の付議事項は「本市が進める生活交通、都心アクセス、基幹公共交通軸を初めとする都市交通にかかわる調査、研究」となりますが、新バスシステムを進めようとする本市において、BRTや連節バスについて、多くの委員がそれぞれの意見を持っていることから、まとめることは相当に大変ですが、委員長を補佐し精一杯頑張ります。

あとがき

今号から省力化と経費節減のため、紙面を若干リニューアルしました。限られたスペースのため、伝えたいことがすべて伝えられないこともありますので、ご不明な点、ご意見、ご感想などありましたら何なりと下記連絡先までご一報ください。

発行／民主にいがた 山際 務 (この議会レポートの発行には政務活動費を使用しています。)

市議会会派控室／〒951-8550 新潟市中央区学校町通1番町602-1

TEL 025-226-3476 FAX 025-211-4411

山際務事務所／〒950-0941 新潟市中央区女池6丁目2番12号207

TEL 025-285-2106 FAX 025-285-2026

E-mail: tsutomu-y@heart.ocn.ne.jp

URL: http://blog.goo.ne.jp/tsutomu-y_216

ブログ毎日更新中!



←携帯用QRコード